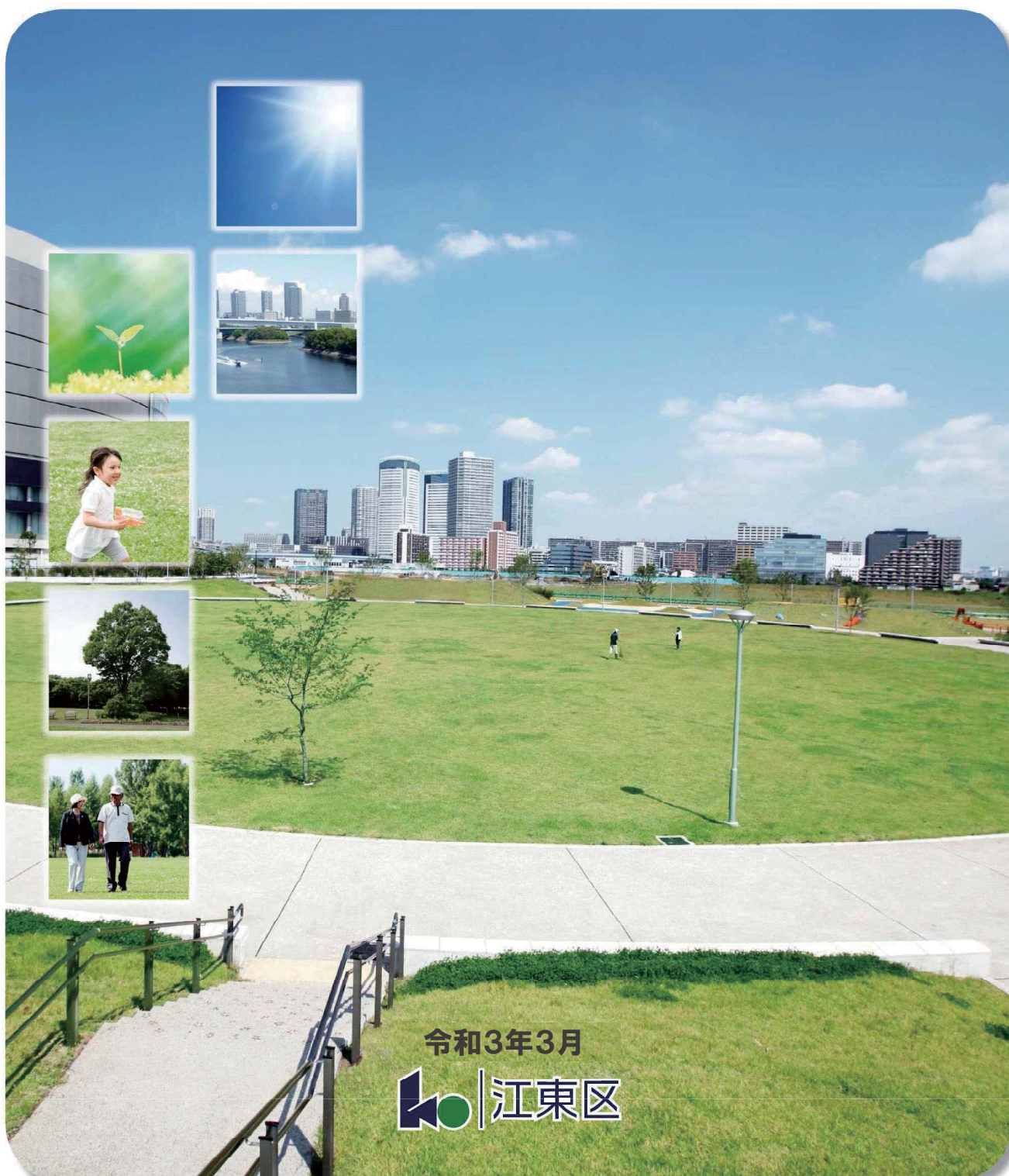


豊洲グリーン・エコアイランド構想

～環境先端拠点の形成を目指して～

<「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づく「低炭素まちづくり計画」>



令和3年3月

 | 江東区

豊洲グリーン・エコアイランド構想の策定にあたって



本構想の対象となる豊洲五丁目の一部と六丁目全域では、大規模な開発を控え、まさにこれからダイナミックに都市づくりが行われようとしています。また、都心に近接し、東雲運河などの水域や旧防波堤の緑に囲まれた豊かな自然環境を有するなど、立地のポテンシャルも高いことから、地区全体を包括的に捉えた最先端の低炭素まちづくりのモデルとしても期待が高まっています。

本構想は、本地区の持つ地区特性を最大限に生かすとともに、新たな環境技術にも積極的に挑戦していくなど、低炭素なまちづくりの目指すべき姿を示した、より実践的な“環境ビジョン”です。環境に最大限配慮したまちづくりを行い、東京の持続的な発展を支える、世界に類を見ない「環境先端拠点」を形成することで、今や地球規模で緊急の課題となっている環境問題に対して、豊洲から低炭素で緑あふれるまちづくりを発信してまいります。

また、東日本大震災では、都市の脆弱性を痛感し、防災機能の重要性を改めて認識することとなりました。被災地の一日も早い復興を心から願うとともに、本地区における豊かな自然の保全・活用とあわせて、生活の安全を確保したまちづくりを行う責務を強く実感しています。環境に優しいまちづくりを進めながら、安全で豊かなライフスタイルを実現する都市、これこそが今後のまちのあるべき姿なのではないでしょうか。

持続可能で安全安心な社会を構築するために、私たちは従来の思考や行動を大胆に転換していく必要があります。そのためにも、まちづくりに関係する皆様と連携・協働しながら、本構想の実現に向けた取組を進めてまいります。

最後に、本構想をまとめるにあたり、貴重なご意見をいただきました皆様、ならびに関係者の方々に心より感謝を申し上げます。

平成 23 年 6 月

江東区長
山崎孝明



目次

I 本構想について

1. 構想の背景と目的	1
2. 対象範囲	1
3. 構想の位置づけ	2
4. 構想の期間	2
5. 地区の現状	3
6. 構想の全体像	4

II 6つの視点と防災

視点1 緑環境	5
視点2 水域環境	7
視点3 環境技術	9
視点4 環境交通	11
視点5 安全安心	13
視点6 エリアマネジメント	15
防災対策	17

III 構想の実現に向けて

1. 環境まちづくり協議会の設立	19
2. 環境ロードマップの作成	19
3. 今後のスケジュール	20
4. 国・都・隣接区等との連携	20
5. 地域とともに行う環境まちづくり	20

◇鳥瞰イメージ図	21
----------	----

◇水辺周辺のイメージ図	23
-------------	----